

新年のごあいさつ

一般社団法人日本病院薬剤師会
会長
武田 泰生 Yasuo TAKEDA



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2026年の幕開けにあたり、会員の皆様には日頃より日本病院薬剤師会（以下、日病薬）の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年、本会は創立70周年という大きな節目を迎えました。10月18日には記念講演会、記念式典、記念祝賀会を開催し、日本医師会、厚生労働省、文部科学省をはじめとする多くの医学・薬学関連団体の皆様にご臨席いただきました。これまでの歩みを振り返るとともに、次の10年、すなわち創立80周年に向けた新たなミッション・ビジョン・バリューを発信する貴重な機会となりました。未来への力強い一步を踏み出すことができましたのは、ひとえに会員の皆様のご支援の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

2025年の活動を振り返りますと、「資質の向上」「職能の拡大」「薬剤師の確保・偏在の解消」という三本の柱の下、様々な取り組みを推進してまいりました。薬剤師臨床研修の整備、専門薬剤師制度の改革、キャリア形成支援など、薬剤師の専門性と成長を支える制度構築に注力するとともに、病棟業務が未実施の中小病院に対する実態調査と支援策の検討を進め、職能拡大の基盤づくりを行いました。さらに、都道府県病院薬剤師会との連携を強化し、地域ごとの薬剤師の偏在状況の把握と行政との協働による確保策の策定にも取り組みました。これらの活動は、病院薬剤師が医療の質を高め、地域医療を支える専門職として、より一層の信頼と期待を得るための重要なステップとなるものと確信しております。

本年2026年は、デジタル化された医療・介護提供体制の構築を目指す「次世代医療の元年」と位置づけ、日病薬は、多様なモダリティの薬物治療に対応できる知識と技能を備えた薬剤師の育成に向けて取り組んでまいります。さらに、中小病院や単科病院においても標準的な卒後臨床研修が実践できる体制の整備、総合的な臨床能力を有する質の高いジェネラリスト育成のための研修、専門薬剤師制度の改革などを通じて、次世代医療に貢献できる薬剤師の育成を目指したキャリア形成ロードマップを策定してまいります。

会員の皆様におかれましては、引き続き日病薬の活動への積極的な参画とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、2026年が皆様にとって実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。